

# 8th Women's Asia Cup

日付	2013年9月22日 20:30~22:00		
場所	マレーシア/クアラルンプール	天候	晴れ
試合	第2戦	通算結果	日本 1勝1負

Country	RESULT			Country
日本	Full Time	0 - 3		韓国
JAPAN	Half Time	0 - 3		KOREA

Start	No.	Name	Card
✓	1	大家 涼子(GK)	
24	2	錦織 えみ	
✓	3	坂井 志帆	
✓	4	小野真由美	
5	5	大田 昭子	
55	6	永井 葉月	
✓	7	中川未由希(C)	
10	8	真野 由佳梨	
✓	9	三橋 亜記	
✓	10	新井 麻月	
✓	12	西村 綾加	
9	14	植田 彩	
15	15	永井 友理	
✓	17	大塚 志穂	
18	18	吉川 由華(GK)	
✓	19	眞鍋 敬子	
✓	20	及川 葉	
✓	22	柴田 あかね	
監督		柳 承辰	
UMPIRE		IPPARRAGUIRRE, SOLEDAD (ARG)	

Start	No.	Name	Card
✓	1	LEE, SIN HYE (GK)	
✓	6	CHO, EUN JI	
✓	7	CHA, SE NA	
✓	9	HAN, HYE LYOUNG	
✓	10	PARK, MI HYUN	
✓	11	KIM, JONG EUN (C)	
✓	12	KIM, DA RAE	
✓	13	CHEON, SEUL KI	
✓	14	JEON, YU MI	
✓	15	AN, HYO JU	
8	17	KIM, OK JU	
	19	OH, SUN SOON	
✓	22	PARK, KI JU	
11	23	LEE, YOUNG SIL	
54	24	HONG, JI SEON	
8	29	PARK, SEUNG A	
8	28	CHEON, EUN BI	
	32	BAE, SO RA (GK)	
監督		HAN JIN SOO	
UMPIRE		PUCHIMANDA, ANUPAMA (IMD)	

Country	Min	Name	Action	Score
KOR	2	KIM, JONG EUN (C)	FG	0-1
KOR	17	CHEON, SEUL KI	PC	0-2
KOR	22	KIM, DA RAE	PC	0-3

Country	Min	Name	Action	Score

アジアカップの第2戦目は、世界ランキング8位の韓国との対戦である。

(前半)  
日本のセンターパスにより試合は開始された。日本は序盤からコートを大きく使い、サイドチェンジを取り入れながら、相手23M内に侵入する。しかし、サークルエントリーまでは行けず。その直後、自陣で相手から奪ったボールをセンターパスによりインタセプトされ、左サイドの23Mからベースラインをドリブルで突破される。そこからのパスをタッチシュートされ、韓国に先制されてしまう。早い時間帯で失点をしてしまった日本だが、ボール支配率を増やし、DFで展開しながらチャンスを伺う。中盤から前線へ良いテンポでパスを回すものの、シュートまで行くことができない。逆に相手のFWの広がりリードする動きに対しマークがずれ、16分に韓国にPCを与える。1本目はGK大家がドラッグフリックシュートを好セーブ、しかしアゲインの2本目にドラッグが右上に決まり、失点。そして22分にも相手のPCのくずれからのヒットシュートをタッチされ、3点目を失点する。日本もサイドでの突破により、24分、31分にシュートチャンスが作ったが、決定つげず。そのまま前半を0-3で折り返した。

(後半)  
前半戦の相手がグラウンドを広く使ってロングボールを狙う戦術に対して、日本は積極的に高いポジションでのハイプレスをかける。敵陣でボールを奪う戦術に切り替えたことにより、立ち上がりから日本のペースで試合が進み、後半10分にPCのチャンスを得る。小野がバントからのスラップシュートを放つが、惜しくもキーパーに阻まれてしまう。その後は両者一進一退の攻撃が続く。15,16分には韓国にPCを与えてしまうが、日本の守備陣は得点を許さない。27分には日本がカウンターをしかけ、三橋がクロスボールを放ち、そのボールを新井、植田が続けてタッチシュート。しかし、得点には至らず。日本は最後まで攻撃・守備ともに執念を見せたが、追いつくことは出来ず、0-3で試合は終了した。

	日本	3	シュート数	6		韓国
		1	PC数	10		

次戦(第3戦) 9月24日(火) 18:30 ~ 日本 対 カザフスタン 記載責任者: マネージャー 前田夏希  
校閲: 女子監督 柳 承辰